

		合意内容		無税〜 製品など
EUへの輸出	大枠	即時撤廃		
	個別品目	・ホタテ	8年目撤廃	8% (冷蔵)
	・フリ	即時撤廃		15% (冷蔵)
		・水産ねり製品	即時撤廃	20%
EUからの輸入	主要品目	海藻類 (ノリ、コンブなど)	関税撤廃の対象から除外	干ノリは40%、味付けシジキ
		アジ、サバなど	16年目撤廃	7~10%
		スルメイカ アジフィレー (生鮮・冷蔵) サバフィレー (生鮮・冷蔵) など	11年目撤廃	5~10%
		マイワシ (冷凍) アカイカ (冷凍) ヤリイカ (冷凍) など	9年目撤廃	3.5~10%
		クロマグロフィレー (冷凍) イワシフィレー (冷凍) など	6年目撤廃	3.5~10%
		カツオなど	4年目撤廃	3.5~7%
		キハダマグロ (冷凍) メバチマグロ (冷凍) 大西洋サケ・マス (冷凍) マダラ (冷凍) ヒラメ・カレイなど	即時撤廃	3.5~6%

「商品」は現地企業との競争も激しい。輸出の伸びは未知数」とした。日かつ漁協の土屋和常務は、「輸出環境はよくなる可能性がある」としながらも、大西洋クロマグロ (冷凍) の輸入関税撤廃については、「ただでさえ漁獲枠が増え輸入増が見込まれる中、日本の生産者にとって脅威になりかねない」と危機感を語った。

## 道南定置で突発的な漁獲

を継続するとともに、7さらなる配分枠の見直し月中は毎週火曜日 (11日、18日、25日) を休漁日とし、日本定置漁業協会が検討している能動的漁業との協力金の枠組みの早急な確立、漁獲努力量を大幅に削減する資源管理の取り組みに対する新たな経営支援制度の創設などについて、特段の配慮を求めることを決めた。

【札幌】1日から太平洋クロマグロ資源管理の第3管理期間がスタートしたが、道南地域の定置網で突発的な小型魚 (30キ未滿) の漁獲があり、4日現在ですでに北海道の定置網の漁獲上限 (58・5ト) を超過した。これを受け、道は11日に農

## わずか4日で上限 道、配分見直しなど要望へ

日から30日までクロマグロを漁獲しない措置に取

同漁協の定置網では当初から6月の毎週土曜日見直しなどを要望する方を休漁とし、さらに強度を超過する事態に至った。しかし、第3管理期間

6月に延べ10日間の休漁措置を実施していたリ・イナダ、イカなどが漁獲量を抱える都道府県管

## 陸上養殖

日本水産、パナメ事業化は

2011年を顕姓に度利用したこともあるという。敷地内にはふ化後1か月程度育成させる稚エビ用と、その後の3か月間養殖する育成槽の2種類がある。ふ化から出荷サイズまでの歩留まりは6割程度だ。バイオブロックは水槽内に微生物と一緒に育成

日本水産の来年度の国内におけるパナメ養殖の生産計画は200トの見通し。同社では、「フィジー・リビティースタディ (実現可能性調査) と位置付けているが、クルマエビが主流だった国内エビ養殖に、消費の主要魚種であるパナメの生産に踏み切った。利益の積み上げを求められる事業にしていくかどうかは「コストがいくらになるかが大きなポイント (前橋知之執行役員) という。生産拠点は鹿児島県の南端、南九州市頰娃町。年間を通して温暖な気候で、養殖池の水温を29度Cに維持するのに最適といえる。

### 色素たんぱく質メト化抑制



うみがすき 魚いっばい あおいうみ 大坪水産株式会社

生産システムは陸上養殖の中でも、イニシャルコストが比較的低いとされる閉鎖式バイオブロック養殖。基本的には水の交換は収穫ごとで、処理する方式で、恒常的な水の過が必要ないため、それに付随する処理施設なども必要ない。ただ、国内での事例は極めて少

【おこ】 2011年を顕姓に度利用したこともあるという。敷地内にはふ化後1か月程度育成させる稚エビ用と、その後の3か月間養殖する育成槽の2種類がある。ふ化から出荷サイズまでの歩留まりは6割程度だ。バイオブロックは水槽内に微生物と一緒に育成